

春季特別展

「江戸の技—細密工芸の世界—」

4月27日より公開しております本展示会では、江戸時代の職人の技が凝縮された、60点以上の細密工芸品を展示しています。これらの中から、今回は刀装具についてご紹介します。

「京都名所三所」



「鐔(表) 嵐山春景」



「鐔(裏) 高尾秋景」



「小柄(表) 加茂夏景」

刀装具とは、刀剣を外側から保護する刀装(柄と鞘)に装着する金具のことで、鐔・目貫(柄の側面につける飾り金物)・笄(鞘に挿む髪搔)・小柄などがこれにあたります。通常、同一の意匠で揃えた目貫・笄・小柄の組み合わせを三所物と呼びますが、今回の展示作品のひとつ「京都名所三所」は、鐔・小柄・縁頭の組み合わせで、京の名所の春夏秋冬を描いています。鐔の表に春の嵐山、裏に秋の高尾、小柄に夏の賀茂と清水、縁頭に冬の鞍馬と野々宮が振り分けられ、その表現には和歌と月琴を好んだ風流人でもあった京の金工・和田政竜の深い感性がうかがえます。

そのほか、落ち着いた上品な「家彫」に対して独創的で洒落た意匠の「町彫」を創始した横谷宗珉作の獅子をかたどった目貫や、絵画を学び、詩情あふれる洗練された作風をもつ加納夏雄の時鳥の小柄など、多彩な作品を展示しています。刀装具という細密な工芸品が生み出す造形の世界をご鑑賞ください。



「縁頭 鞍馬・野々宮冬景」



「小柄(裏) 清水夏景」

会期	6月23日(日)まで
開館時間	午前9時～午後4時30分 (入館は4時まで)
休館日	5月7・13・20・21・27日 6月3・10・17・18日
観覧料金	一般 600円(420円) 高校・大学生 400円(280円) 小・中学生 200円(140円)
()内	は20名以上の団体料金です。

ミュージアム都留

「チャレンジランキング」

きみはどこまでできるかな？挑戦してみよう！

5月のテーマ

「紙飛行機にチャレンジ！」

日時 毎週土・日曜日 午前9時～午後4時30分

会場 「ミュージアム都留」エントランスホール

※事前の申し込みは不要です。

博物館ボランティア募集！

ミュージアム都留では、市民と共に歩む博物館づくりをめざし、博物館の運営に協力していただけるボランティアを募集しています。ご都合のつく日に半日程度、ミュージアム都留に来ることが可能な方は、ぜひご協力をお願いします。

現代の名工による屏風 公開

春季特別展の開催に併せて、3月に市内長者町の組子職人・佐藤重雄さん(92歳・写真)より寄贈された、風炉先屏風2点を公開いたします。

佐藤さんは全国に弟子を持ち、国語の教科書にも紹介されている現代の名工。丹念に削った桐の木片を一枚一枚組んで作り上げられた「組子」の緻密な技をご覧ください。

